

日本史探究 シラバス	単位数	4 単位
------------	-----	------

### 1. 学習の到達目標

学習の到達目標	○江戸時代後半と近現代の学習を中心に、日本史の理解を深める。 ○センター試験をはじめとする大学入試に対応できる学力をつける。
使用教材	「詳説日本史B」 (山川出版社) 「新詳日本史」(浜島書店) 「日本史用語集」(山川出版社) 「ウイニングコンパス日本史の整理と演習」(とうほう)

### 2. 学習計画および評価方法

	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学 期	・ 開国と幕末の動乱 ・ 明治維新と富国強兵 ・ 立憲国家の成立	4	・ 日本の近代化に向けての基本となる新体制のしくみを学習する。 ・ 立憲国家成立の経過を学習する。	中間考查 左記の学習内容
		5		期末考查 左記の学習内容
6	〈 1 学期の評価方法 〉 定期考查の得点を基本に総合的に判断する。			
2 学 期	・ 立憲国家の成立 ・ 日清日露戦争 ・ 近代文化 ・ 近代産業の発達 ・ 第一次世界大戦と日本 ・ ワシントン体制 ・ 市民文化 ・ 恐慌の時代 ・ 軍部の台頭 ・ 第二次世界大戦 ・ 占領下の日本 ・ 高度成長の時代 ・ 激動する世界と日本	7	・ 日清・日露戦争の外交的背景と日本の対応を学習する。 ・ 近代社会の文化を、背景を把握しつつ学習する。 ・ 世界経済の破綻を列強諸国がどのように打開しようとしたのかを学習する。 ・ 戦時下の国内外の民衆の人権・生活の抑圧・抑制を知る。 ・ 占領下の体制改革の背景としくみを知る。 ・ 冷戦が日本の外交・内政に与えた影響を知る。 ・ 石油危機後の国際経済と日本経済・社会の変動について知る。 ・ 現代日本の課題を認識する。	中間考查 左記の学習内容
		8		
		9		
		10		期末考查 左記の学習内容
〈 2 学期の評価方法 〉 定期考查の得点を基本に総合的に判断する。				
3 学 期	・ 日本史学習の総復習	12	・ 大学入試の過去問題等を利用し、各時代のあり方を総復習する。	
		1		
		2		
〈 3 学期の評価方法 〉 授業内テスト等の得点を基本に総合的に判断する。				

### 3. 学習方法の要点

- 何度も教科書を熟読して文脈で記憶する。
- 重要だと思われるところは、自分でノートをつくり後で何度も見直して覚える。
- 授業中に指摘された教科書・史料集・図表などの箇所にしるしをつけ、あとで見直す。
- 復習を中心にする。その際授業のなかで触れられなかった図表や史料にも必ず目を通す。
- 大学入試のテスト範囲は、教科書・史料集・図表などの教材すべてである。